



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月8日

東・名

上場会社名 中部鋼板株式会社 上場取引所  
コード番号 5461 URL <https://www.chubukohan.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 久美男  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 松田 将 (TEL) 052-661-3811  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	67,785	△11.2	10,425	△15.0	10,228	△17.0	7,133	△16.8
2023年3月期	76,320	18.5	12,261	120.8	12,328	123.1	8,577	126.6

(注) 包括利益 2024年3月期 8,218百万円(△8.9%) 2023年3月期 9,024百万円(132.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	259.34	—	9.5	11.3	15.4
2023年3月期	310.53	—	12.4	14.9	16.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	93,548	77,494	82.1	2,836.36
2023年3月期	88,095	73,720	82.9	2,643.19

(参考) 自己資本 2024年3月期 76,796百万円 2023年3月期 73,074百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,872	285	△4,548	12,016
2023年3月期	10,133	△9,084	△1,953	12,406

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	—	20.00	—	84.00	104.00	2,874	33.5	4.1
2024年3月期	—	30.00	—	61.00	91.00	2,481	35.1	3.3
2025年3月期(予想)	—	50.00	—	51.00	101.00		44.8	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,100	△4.9	4,100	△7.3	4,100	△6.0	2,700	△11.3	99.72
通期	68,000	0.3	9,500	△8.9	9,100	△11.0	6,100	△14.5	225.30

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	30,200,000株	2023年3月期	30,200,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	3,124,421株	2023年3月期	2,553,777株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	27,507,153株	2023年3月期	27,622,427株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、決算短信(添付資料)14ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	64,395	△11.5	9,763	△14.9	9,592	△17.1	6,760	△16.2
2023年3月期	72,792	18.9	11,474	135.3	11,567	137.6	8,070	139.4
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	245.78		—					
2023年3月期	292.16		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	91,335	71,568	78.4	2,643.29
2023年3月期	85,142	68,464	80.4	2,476.44

(参考) 自己資本 2024年3月期 71,568百万円 2023年3月期 68,464百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	△3.3	3,800	△8.1	3,800	△6.9	2,600	△9.9	96.03
通期	65,400	1.6	9,000	△7.8	8,600	△10.3	5,900	△12.7	217.91

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、決算短信(添付資料)4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. 個別財務諸表 .....	15
(1) 貸借対照表 .....	15
(2) 損益計算書 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、国際情勢は不確実性を増しており、資源価格の変動や為替市場の動向、中国・欧州経済の減速等、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

国内鉄鋼需要につきましては、自動車向け需要が回復した一方で、当社の主需要先である産業機械・建設機械向け需要、建築・土木向け需要は、海外景気減速による設備投資の減少、慢性的な人手不足や資材高による建築案件の工期遅延等により低調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは今期が最終年度となる21中期経営計画の達成に向けて、諸施策の着実な実行と積極的な営業活動に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度における連結業績は、売上高につきましては677億8千5百万円となり、前連結会計年度に比べ85億3千5百万円、11.2%の減収となりました。経常利益につきましては、102億2千8百万円となり、前連結会計年度に比べ21億円、17.0%の減益となり、親会社株主に帰属する当期純利益は71億3千3百万円と前連結会計年度に比べ14億4千3百万円、16.8%の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (鉄鋼関連事業)

鉄鋼関連事業につきましては、主要製品である厚板の需要が落ち込んだことおよび第2四半期の大型設備工事に伴う操業休止により、販売数量が減少し、販売価格も下期にかけてやや下落しました。コストについては、減産の影響等はあったものの、鉄スクラップをはじめとする原材料・諸資材価格が前期を下回ったことによりやや低減しました。

その結果、売上高は650億2千万円と前連結会計年度に比べ83億6千4百万円の減収、セグメント利益(営業利益)は100億1千9百万円と前連結会計年度に比べ17億8千1百万円の減益となりました。

#### (レンタル事業)

レンタル事業につきましては、広告看板の受注が減少した一方、厨房用グリスフィルターのレンタル枚数は順調に増加し、売上高は6億8千5百万円と前連結会計年度に比べ1千1百万円の増収、諸コストの上昇により、セグメント利益(営業利益)は6千3百万円と前連結会計年度に比べ5百万円の減益となりました。

#### (物流事業)

物流事業につきましては、需要先の生産活動が回復し危険物倉庫の取扱量が増加したことから、売上高は5億7千2百万円と前連結会計年度に比べ3千2百万円の増収、セグメント利益(営業利益)は2億8百万円と前連結会計年度に比べ3千6百万円の増益となりました。

#### (エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業につきましては、金属加工の受注が減少したことにより、売上高は15億6百万円と前連結会計年度に比べ2億1千3百万円の減収、セグメント利益(営業利益)は5千9百万円と前連結会計年度に比べ8千7百万円の減益となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## 資産、負債及び純資産状況

## (資産の部)

流動資産は612億9千2百万円で、前連結会計年度末より7億1千8百万円の増加となりました。その主な要因は、有価証券が減少したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金、電子記録債権が増加したことによるものです。

固定資産は322億5千6百万円で、前連結会計年度末より47億3千5百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産において減価償却は進んだものの、機械、運搬具及び工具器具備品、投資有価証券が増加したことによるものです。

## (負債の部)

流動負債は149億9千万円で、前連結会計年度末より16億6千2百万円の増加となりました。その主な要因は、未払金が増加したことによるものです。

固定負債は10億6千3百万円で、前連結会計年度末より1千5百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債が減少したものの、繰延税金負債、その他固定負債が増加したことによるものです。

## (純資産の部)

純資産は774億9千4百万円で、前連結会計年度末より37億7千4百万円の増加となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は120億1千6百万円となり、前連結会計年度末より3億8千9百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は38億7千2百万円(前期は101億3千3百万円の収入)となりました。

主として、売上債権の増加55億2千万円、法人税等の支払42億4千8百万円などの支出があったものの、税金等調整前当期純利益103億9千4百万円、減価償却費の計上21億4百万円などの収入があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による収入は2億8千5百万円(前期は90億8千4百万円の支出)となりました。

主として、有価証券の取得145億円、定期預金の預入100億円、投資有価証券の取得32億1千2百万円、有形固定資産の取得27億7千2百万円などの支出があったものの、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還179億9千8百万円、定期預金の払戻130億円などの収入があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は45億4千8百万円(前期は19億5千3百万円の支出)となりました。

主として、配当金の支払31億4千7百万円、自己株式の取得による支出12億9千9百万円などの支出があったことによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	88.9	89.6	84.2	82.9	82.1
時価ベースの自己資本比率(%)	25.1	32.4	30.5	74.2	76.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—	—	1.5	1.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	2,276.2	60.3	△196.4	1,507.3	600.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

次期のおわが国経済につきましては、個人消費や設備投資等の内需回復が期待される一方で、原材料及びエネルギー価格の高騰による物価上昇や、日銀の金融政策変更による金利上昇、ウクライナや中東地域の情勢が国内景気に与える影響などもあり、景気の先行きは不透明な状況が続くと見込まれます。

国内厚板市場につきましては、資材価格高騰や人手不足による需要への影響が継続しているものの、国土強靱化対策による土木建築向け需要に下支えされ、鋼材需要は底堅く推移することが見込まれます。一方、主原料である鉄スクラップにつきましては、国内相場は昨年度から引き続き高値水準で推移しており、国内・海外相場や為替の影響を受け変動することから、その動向には注視する必要があります。また、エネルギー・諸資材価格についても高騰しており、物流業界の2024年度問題に起因する物流コストの上昇も見込まれるため、厳しい経営環境が継続すると予想されます。そのような諸コストの上昇を受け、メイン・サプライヤーである高炉メーカーをはじめ各社は継続的に販売価格の値上げを進めており、厚板市況につきましては高値水準で推移することが見込まれます。

このような環境のもと、当社及び当社グループは、資源リサイクルにより製造した環境にやさしい高品質な製品を市場に安定的に供給することで、事業の更なる発展と循環型社会構築への貢献を目指すとともに、2024年度よりスタートする24中期経営計画に基づき、新電気炉の完成・立上げと、カーボンニュートラルに向けたCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組み、効率的な操業とコストダウン、品質の更なる向上も進め、お客様の多様なニーズに真摯に向き合うことで、企業価値の向上に努めてまいります。

以上の状況を踏まえ、次期の業績予想につきましては、連結売上高680億円(前連結会計年度比0.3%増)、連結営業利益95億円(前連結会計年度比8.9%減)、連結経常利益91億円(前連結会計年度比11.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益61億円(前連結会計年度比14.5%減)を見込んでおります。

なお、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分につきましては、安定的な配当に意を払いつつ、業績に見合った弾力的な配当を実施していくことを基本方針としており、安定的な配当として「1株当たり年間60円」、または業績に見合った弾力的な配当として「配当性向35%」のいずれか大きい方を目途として配当を行います。

当期の期末配当金につきましては、上記の基本方針に従い、1株当たり61円にさせていただく予定であります。これにより当期の年間配当金は、中間配当金30円と合わせて1株当たり91円となる予定です。

また、次期の配当金につきましては、24中期経営計画に基づき、今年度より自己資本配当率(DOE)3.5%を目途に安定配当と成長による増配を両立させます。初年度については中間配当金50円と期末配当金51円を合わせて年間配当金101円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は日本国内を中心としていることなどから、日本基準を採用することとしております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,906	13,516
受取手形及び売掛金	18,395	22,109
電子記録債権	3,167	4,973
有価証券	14,597	6,998
商品及び製品	4,427	4,309
仕掛品	5,341	5,903
原材料及び貯蔵品	3,536	3,362
その他	202	118
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	60,574	61,292
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,614	6,457
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	8,840	11,662
土地	2,154	2,154
建設仮勘定	1,414	1,104
その他（純額）	3	2
有形固定資産合計	19,028	21,382
無形固定資産		
投資その他の資産	258	224
投資有価証券	6,966	9,629
退職給付に係る資産	315	424
繰延税金資産	467	140
その他	488	458
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	8,234	10,649
固定資産合計	27,521	32,256
資産合計	88,095	93,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,194	8,071
電子記録債務	145	—
未払金	1,236	3,291
未払法人税等	3,051	1,944
未払消費税等	691	639
賞与引当金	524	609
役員賞与引当金	15	15
その他	466	417
流動負債合計	13,327	14,990
固定負債		
役員退職慰労引当金	15	19
退職給付に係る負債	916	739
繰延税金負債	—	133
その他	116	170
固定負債合計	1,047	1,063
負債合計	14,375	16,053
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	4,706	4,713
利益剰余金	62,481	66,463
自己株式	△1,341	△2,638
株主資本合計	71,753	74,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,285	2,114
退職給付に係る調整累計額	35	237
その他の包括利益累計額合計	1,320	2,351
非支配株主持分	645	698
純資産合計	73,720	77,494
負債純資産合計	88,095	93,548



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	76,320	67,785
売上原価	58,492	52,068
売上総利益	17,828	15,716
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	3,019	2,786
役員報酬及び給料手当	1,153	1,114
賞与引当金繰入額	189	214
役員賞与引当金繰入額	15	15
役員退職慰労引当金繰入額	3	3
退職給付費用	96	78
減価償却費	126	127
その他	961	950
販売費及び一般管理費合計	5,566	5,291
営業利益	12,261	10,425
営業外収益		
受取利息	11	20
受取配当金	118	139
受取賃貸料	71	72
仕入割引	3	2
雑収入	40	82
営業外収益合計	245	317
営業外費用		
支払利息	6	6
固定資産処分損	136	475
為替差損	—	0
雑損失	34	32
営業外費用合計	178	513
経常利益	12,328	10,228
特別利益		
投資有価証券売却益	—	166
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	166
特別損失		
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前当期純利益	12,328	10,394
法人税、住民税及び事業税	3,800	3,193
法人税等調整額	△93	14
法人税等合計	3,707	3,207
当期純利益	8,621	7,187
非支配株主に帰属する当期純利益	43	54
親会社株主に帰属する当期純利益	8,577	7,133

## 連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	8,621	7,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	360	828
退職給付に係る調整額	41	201
その他の包括利益合計	402	1,030
包括利益	9,024	8,218
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,980	8,164
非支配株主に係る包括利益	43	54

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,907	4,676	55,312	△1,358	64,537
当期変動額					
剰余金の配当			△1,408		△1,408
親会社株主に帰属する 当期純利益			8,577		8,577
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		30		17	47
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	30	7,168	17	7,216
当期末残高	5,907	4,706	62,481	△1,341	71,753

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	924	△6	918	603	66,058
当期変動額					
剰余金の配当					△1,408
親会社株主に帰属する 当期純利益					8,577
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					47
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	360	41	402	42	445
当期変動額合計	360	41	402	42	7,661
当期末残高	1,285	35	1,320	645	73,720

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,907	4,706	62,481	△1,341	71,753
当期変動額					
剰余金の配当			△3,151		△3,151
親会社株主に帰属する 当期純利益			7,133		7,133
自己株式の取得				△1,299	△1,299
自己株式の処分		6		2	9
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	6	3,981	△1,297	2,691
当期末残高	5,907	4,713	66,463	△2,638	74,444

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,285	35	1,320	645	73,720
当期変動額					
剰余金の配当					△3,151
親会社株主に帰属する 当期純利益					7,133
自己株式の取得					△1,299
自己株式の処分					9
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	828	201	1,030	52	1,083
当期変動額合計	828	201	1,030	52	3,774
当期末残高	2,114	237	2,351	698	77,494

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	12,328	10,394
減価償却費	2,336	2,104
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△165
固定資産処分損益 (△は益)	136	475
固定資産売却損益 (△は益)	-	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	75	85
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△34	11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	3
受取利息及び受取配当金	△130	△159
支払利息	6	6
売上債権の増減額 (△は増加)	756	△5,520
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,769	△270
仕入債務の増減額 (△は減少)	335	731
未払消費税等の増減額 (△は減少)	196	△52
その他	154	323
小計	12,399	7,967
利息及び配当金の受取額	130	160
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△2,400	△4,248
法人税等の還付額	10	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,133	3,872
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	4,000	13,000
有形固定資産の取得による支出	△2,433	△2,772
有形固定資産の売却による収入	2	3
有価証券の取得による支出	△7,200	△14,500
投資有価証券の取得による支出	△1,609	△3,212
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	8,300	17,998
その他	△143	△231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,084	285
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△1,299
自己株式の処分による収入	38	-
配当金の支払額	△1,407	△3,147
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
リース債務の返済による支出	△584	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,953	△4,548
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△905	△389
現金及び現金同等物の期首残高	13,311	12,406
現金及び現金同等物の期末残高	12,406	12,016

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社グループは、当社と連結子会社である4社(明德産業株式会社、シーケー商事株式会社、シーケークリーンアド株式会社、シーケー物流株式会社)で構成されております。

「鉄鋼関連事業」は当社とシーケー商事株式会社で構成されており、主原料の鉄スクラップを仕入れ、電気炉による厚板鉄鋼製品の製造、販売をしております。

「レンタル事業」はシーケークリーンアド株式会社で構成されており、業務用厨房向グリスフィルターのレンタル事業及び広告看板事業を行っております。

「物流事業」はシーケー物流株式会社で構成されており、運送・荷役事業と危険物倉庫事業を行っております。

「エンジニアリング事業」は明德産業株式会社で構成されており、鉄鋼関連設備を中心とするプラントの設計・施工及び設備保全に関するエンジニアリング事業を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	73,385	674	539	1,720	76,320
その他の収益	—	—	—	—	—
(1)外部顧客に対する売上高	73,385	674	539	1,720	76,320
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	7	253	595	892
計	73,421	682	793	2,316	77,213
セグメント利益	11,800	68	171	146	12,188
セグメント資産	59,913	1,464	3,188	1,881	66,448
その他の項目					
減価償却費	2,220	22	116	7	2,367
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,582	2	32	9	3,626

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	65,020	685	572	1,506	67,785
その他の収益	—	—	—	—	—
(1)外部顧客に対する売上高	65,020	685	572	1,506	67,785
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	7	247	559	819
計	65,026	692	819	2,066	68,604
セグメント利益	10,019	63	208	59	10,350
セグメント資産	70,382	1,501	3,255	1,584	76,724
その他の項目					
減価償却費	1,990	21	107	10	2,129
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,685	7	4	7	4,705

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	77,213	68,604
セグメント間取引消去	△892	△819
連結財務諸表の売上高	76,320	67,785

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,188	10,350
セグメント間取引消去	73	74
連結財務諸表の営業利益	12,261	10,425

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	66,448	76,724
セグメント間取引消去	△2,868	△3,042
全社資産(注)	24,514	19,866
連結財務諸表の資産合計	88,095	93,548

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の現金及び預金、有価証券であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	2,367	2,129	△30	△24	2,336	2,104
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,626	4,705	△14	△25	3,612	4,679

(注) 1 減価償却費の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 減価償却費は、のれんの償却額を含んでおりません。

3 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,643.19円	2,836.36円
1株当たり当期純利益	310.53円	259.34円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 算定上の基礎は以下のとおりであります。

## (1) 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	73,720	77,494
普通株式に係る純資産額(百万円)	73,074	76,796
差額の主な内訳(百万円)		
非支配株主持分	645	698
普通株式の発行済株式数(株)	30,200,000	30,200,000
普通株式の自己株式数(株)	2,553,777	3,124,421
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	27,646,223	27,075,579

## (2) 1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	8,577	7,133
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	8,577	7,133
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式の期中平均株式数(株)	27,622,427	27,507,153

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,917	12,868
売掛金	20,441	26,472
有価証券	14,597	6,998
製品	4,424	4,307
原材料	2,257	2,076
仕掛品	5,260	5,778
貯蔵品	1,268	1,279
前払費用	63	66
その他	64	42
流動資産合計	58,295	59,889
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,098	4,989
構築物	560	591
機械及び装置	8,298	11,095
車両運搬具	56	43
工具、器具及び備品	304	384
土地	1,241	1,241
建設仮勘定	1,405	1,093
有形固定資産合計	16,966	19,439
無形固定資産		
ソフトウェア	213	187
その他	8	8
無形固定資産合計	221	195
投資その他の資産		
投資有価証券	6,801	9,397
関係会社株式	198	198
長期前払費用	150	115
前払年金費用	296	303
繰延税金資産	316	—
賃貸不動産	1,857	1,759
その他	38	40
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,658	11,812
固定資産合計	26,846	31,446
資産合計	85,142	91,335

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,067	7,263
短期借入金	3,645	4,533
未払金	1,712	3,717
未払費用	141	152
未払法人税等	2,920	1,857
未払消費税等	635	609
預り金	45	34
賞与引当金	410	501
その他	172	76
流動負債合計	15,750	18,745
固定負債		
退職給付引当金	877	886
繰延税金負債	—	28
その他	50	105
固定負債合計	927	1,021
負債合計	16,678	19,767
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金		
資本準備金	4,668	1,200
その他資本剰余金	38	3,513
資本剰余金合計	4,706	4,713
利益剰余金		
利益準備金	348	348
その他利益剰余金		
別途積立金	41,000	41,000
繰越利益剰余金	16,587	20,196
利益剰余金合計	57,935	61,544
自己株式	△1,341	△2,638
株主資本合計	67,207	69,525
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,256	2,042
評価・換算差額等合計	1,256	2,042
純資産合計	68,464	71,568
負債純資産合計	85,142	91,335

## (2) 損益計算書

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	72,792	64,395
売上原価	56,360	49,977
売上総利益	16,431	14,417
販売費及び一般管理費	4,956	4,654
営業利益	11,474	9,763
営業外収益		
受取利息及び配当金	126	154
その他	245	301
営業外収益合計	372	455
営業外費用		
支払利息	7	7
その他	272	619
営業外費用合計	280	626
経常利益	11,567	9,592
特別利益		
投資有価証券売却益	—	166
特別利益合計	—	166
特別損失		
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前当期純利益	11,567	9,758
法人税、住民税及び事業税	3,565	2,994
法人税等調整額	△68	3
法人税等合計	3,496	2,997
当期純利益	8,070	6,760